



学びで世界を描こう

発行日 2021.1.21
京都市立旭丘中学校
学習指導部

ゲームやネットに関する原清治先生(佛教大学)の講演会がありました。

1. ゲームに潜む危険！

1年生で「ゲームを2時間以上している人」は7割、「しない人」は2割。先生的には「めっちゃいる！」印象。これは「他校よりも多い」そうです。だから、ゲーム関連のトラブルが旭中生には多いようです。何を言われても止められないのがゲーム中毒。30分でもゲーム中毒の人はいます。自分の意志で決めることが重要！そして、特に危険なのは次の2つ。



>>>危険①「課金」

強いアイテムで強くなりたい。かわいい服を着せたい。そんな認められたい願望が課金を促します。保護者の許可がないと課金はできないはずですが、現実には1万円を超えるような課金も珍しくありません。そして、お金が手に入らなくなった時、家族の財布や、お友達から、簡単にお金を手に入れようとする行為は、歯止めが利かなくなり、あらゆる犯罪につながる入口となります。だから、絶対に人のお金に手を出してはいけません。お金で「認められたい」心を埋めるのではなく、学習や部活動や家のお手伝いといった、リアルな努力で認めもらえる人になって欲しいと思います。

>>>危険②「チャット」

最近のゲームはチャットができます。ゲーム使用率が高めの旭中生には、「ネットいじめ」など、トラブルが多くなりがちなところです。実際はそんなに打ち解けた仲でなくとも、ゲーム内では「お前は下手だ。」「できひんなら入ってくん。」と簡単にひどい言葉が放たれます。直接会っていないと自分よがりになりがちです。“そんなつもりがなくても”相手に傷つける言葉が簡単に飛び交います。相手はどう思う？嫌な思いしない？立ち止まって相手の気持ちを考えるようにしましょう。また、チャットの向こう側の人はなんだか優しく感じられますが、どんな人が何を目的に声をかけているかわかりません。だから個人情報を書き込んではいけません。

2. SNSに潜むノリ！

SNSでは簡単に悪口が飛び交う。命が奪われることもある。原因は「ノリ」。ネット上は「NO!」と言いづらい。たとえばグループラインで「～しようよ」と誘いがあったとき、「それはマズイのでは?」「嫌だなあ。」と自分は思っているとします。その時、ちゃんと「NO!」が言えますか？流されていませんか？流されて「いいよ～」なんて返してる方が軟弱。「NO!」と正直に言えるのが勇気の証。リアルよりも「ノリ=同調圧力」が発生しやすいネットだからこそ、勇気を出して、流されず、自分らしくありたいものです。

最後に原先生は「旭丘中学校の皆さんは、お出迎えをしてくれ、にこやかに話を聞きながらも、重要なところは真剣な雰囲気になる」と褒めてくださいました。そして、「皆さんならこれからの変化多い社会も見据えて、もっといろんなことにチャレンジできるはずだ」とも。実直な努力を重ね、自信を掴み、リアルでもゲームでもネットでも、まずは自分の意志を大切にしてください。



互いに思い合える旭中生なら、社会に出ても、心豊かに、たくましく生きぬくことができるはずです。